お知らせ

日本医師会 赤ひげ大賞

第15回「日本医師会　赤ひげ大賞」のお知らせ

日本医師会では、今年度15回目を迎える「日本医師会　赤ひげ大賞」の候補者を募集しています。

本賞は、地域に根差した「かかりつけ医」として、地域住民の日々の健康管理と診療を親身になって行っている医師を「現代の赤ひげ」として顕彰するもので、毎年５名の大賞受賞者と若干名の功労賞受賞者に贈賞しています。

推薦は都道府県医師会長からとなりますが、もしお知り合いに本賞にふさわしい先生がいらっしゃいましたら、ぜひとも７月１日までに所属している郡市医師会までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

推　薦　要　領

【目　　的】　各地域の医療現場で健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当て、その活躍を顕彰することで、各地の医療環境整備、医療活動の充実に寄与することを目的とする。

【主　　催】　日本医師会　産経新聞社
【後　　援】　厚生労働省（予定）、フジテレビジョン、BSフジ
【協　　力】　都道府県医師会
【特別協賛】　太陽生命保険

【表　　彰】　都道府県医師会長から推薦された候補者の中から、日本医師会役員を含む第三者を交えた選考会において「赤ひげ大賞」受賞者５名と「赤ひげ功労賞」受賞者若干名を決定し、表彰を行う。
「赤ひげ大賞」受賞者には、賞状と記念品及び賞金100万円を、「赤ひげ功労賞」受賞者には賞状をそれぞれ贈呈する。

【対 象 者】　・病を診るだけではなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師
・日本医師会あるいは都道府県医師会の会員で現役の医師（ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く）

【推薦方法】　本賞受賞にふさわしいと思われる方１名を各都道府県医師会長が推薦
※令和８年７月末時点で「50歳未満」から１名、「50歳以上」から１名の計２名までご推薦可能です。

【提出期限】　令和８年７月１日（水）
※所属郡市医師会への提出。「候補者推薦書」は北海道医師会ならびに郡市医師会にあります。

※過去の受賞者は公式サイトに掲載されています。➡